

かず子さんの きもち

かず子さんは、することが いつも ゆっくり しています。

みんなで ならんで あるくとき かず子さんが どんなに おそくても
あきよさんは ぬかしません。 あきよさんは かずこさんの うしろを
あつかいます。

かず子さんは、あきよさんと いると にこにこしています。

ある日、かず子さんが たいいくの きがえを していた ときの
ことです。

いく子さんは、

「かず子さん、はやく きがえないと おくれるよ。」

と いうて、てつだおうと しました。

すると、かず子さんは

「いやっ。」

とおじり、 きがえを やめて しまいました。

そのとき、ちかくで 見ていた あきよさんが

「あぁ、もっ。」

と いく子さんに いうて、かず子さんの てつだいを してくれたので
おくれませんでした。



かず子さんの きもち（小学校低学年用）

A 教材設定の理由

みんなより少し行動が遅いとか、みんなと違う目立つことをしてしまう子がいる。そうした行動をするには、その子なりのわけや思いがあるだろう。

教員は、自分の思いどおりに動かない子に、つい命令調になってしまったり、声を荒げてしまったりすることがある。すると、教員の価値観が子どもたちの価値観になり、教室の子どもたちも教員と同じようにきつく注意してしまう。そうすると、その子だけが違うように見られて、注意する子、注意される子の関係ができてしまう。そうした行動をするには、その子なりのわけや思いがあるだろう。

教員は、その子の思いを大事にしながらかきあい、子どもどうしをつなげていきたい。そして、どの子も教室に居場所があるようにしたい。

この教材を通して、そうしたことを子どもとともに考えあいたい。

B 教材の解説

本教材は、県内の小学校の出来事を題材にしている。実は、登場人物のいく子さんとは教員である。子どもどうし関係を見直す教材にするために、いく子さんという子どもに設定した。

かず子さんは、特別支援学級「なかよし」に在籍している女の子で、1年生の学級に交流している。かず子さんは、いろいろなことをするのに時間がかかる。

あきよさんは、朝登校してきて、かず子さんがズックを履き終わるまで黙って待っている。そして、階段を上がって教室に入るまで後ろからついていく。また、クラス全員で並んで歩く時、かず子さんがどんなに遅くても、あきよさんは決して抜かして歩くことはしなかった。かず子さんが、前の子から遅れてしまっても、引っ張ったり、後ろから押したりすることもなく、後ろから黙ってついて行く子であった。

ある日、いくさんは、体育の着替えの時、かず子さんが遅れてはいけないと思い、かず子さんに声をかけ手伝おうとした。すると、かず子さんは、「いやっ」と言って、着替えをやめてしまった。その時、いくさんは、怒ったままのかず子さんにどうしていいかわからなかった。自分の言うことを聞かせようとの思いでいっばいだった。

その様子を近くで見ていたあきよさんは、「かず子さんは、今自分で着替えをしていた。時間はかかっても自分でしていたのに。黙って見ていればちゃんと着替えたのに。」と思っていたのだろう。そして、着替えをやめてしまったかず子さんを手伝ったのだろう。

あきよさんは、かず子さんが手伝って欲しい時に助けるから、あきよさんを嫌がることはない。かず子さんがいくさんを嫌がったのは、みんなと一緒にがんばって欲しいと、焦ってかず子さんを追い立てたからだった。いくさんの都合が優先して、急がせてしまったからに他ならない。

学校では、早いことがよいことだ、みんなが同じように行動するのが当然だという意識が先に立ってしまうことが多い。体育に遅れてはいけないという子どもの気持ち。それは当たり前のように、かず子さんにとっては時間をかけて学んでいくことである。ゆっくりでも自分でできるようになることが大切である。

教員は、子どもたちが相手の立場を考え、気持ちを押し量る関係を教室に作り出すことが大切である。

C 教材の使用にあたって

教室に行動が遅れる子や他の子と違う行動をして目立ってしまう子がいる場合、その子に焦点をあてて授業を進めてほしい。

D 参考資料

第 59 回全国人権・同和教育研究大会報告

「Kさんとまわりの子どもたちと出会って私がもらったもの」

E 授業の展開例

教師の基本発問・助言	学習内容と支援
<p>1 導入</p> <p>① あなたは友だちを手伝ったり、友だちに手伝ってもらったりしたことはありますか。</p> <p>2 展開</p> <p>② 「かず子さんの きもち」を読みましよう。</p> <p>③ かず子さんはどんな子でしょう。</p> <p>④ あきよさんは、どんな子でしょう。</p> <p>⑤ かず子さんは、どうして着替えをやめたのでしょうか。</p> <p>⑥ どうして、あきよさんが手伝ったら、かず子さんは着替えたのでしょうか。</p> <p>3 まとめ</p> <p>⑦ あなたもかず子さんのような気持ちになったことはありますか。</p>	<p>① 手伝ってもらったりしたことを思い出す。</p> <p>② 範読する。</p> <p>③ いつも行動がゆっくりしていることを押さえる。</p> <p>④ かず子さんに命令などせず、黙って待ってあげていることに気づく。</p> <p>⑤ かず子さんが自分でできるのに、いく子さんが手伝おうとしたことに気づく。</p> <p>⑥ あきよさんが、「ああ、もう」と言った気持ちを考えさせる。 ・かず子さんの反応から、どんな言い方だったのか予想させ考えさせる。</p> <p>⑦ かず子さんへの手紙という形で、同じような経験を書かせる。 書いた手紙を次時に取り上げ考えてもよい。</p>